

【評価】

総則第6款の5(10)……生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い学習意欲の向上に生かすようにする。

評価は

- ・生徒の学習への動機付けや学習の方向付けに役立つものであること。
- ・教師の自己反省とその後の指導方針や指導改善に役立つものであること。
- ・ほめる材料として、生徒の向上につなげるものであること。
- ・しっかりした根拠に立つもので、公正であり、教師も生徒も納得のいくものであること。
- ・指導目標に基づき多面的に行い、適切に活用できるものであること。

(1) 評価の工夫改善の視点

ア 指導の改善に生かす評価の工夫

授業中に適切に評価を行い、生徒の学習状況を指導にフィードバックするなど、指導と評価の一体化を図る必要がある。

イ 指導目標と評価の観点の明確化

学習指導要領及び同解説書を基に指導目標を明確にするとともに、評価の観点ごとの評価規準を設定するなど、指導計画と評価計画を作成する必要がある。

ウ 意欲を高めるための評価の工夫

授業中など指導過程の様々な場面において、生徒の反応や考え方、行動の仕方等を的確にとらえ、生徒を個性的な存在として認め、よさを生かす指導の資料となるよう評価する必要がある。

(2) 評価の観点と観点の趣旨

観 点	観点の趣旨（現行）	観点の趣旨（新）
関心・意欲・態度	家庭に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断	家庭に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	家庭や地域の生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。
技能・表現	家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身に付けている。
知識・理解	家庭生活の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家庭生活の意義や役割を理解している。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。

